

講演会・カンファランス等のご案内

北九州地区小児科医会のご案内

第57回北九州地区小児科医会総会

日時：2021年1月17日（日）

13:30～受付開始、14:00～特別講演、15:40～総会議事

場所：リーガロイヤルホテル小倉 3階エンパイアルーム

演題：「新型コロナウイルス感染症へのこれまでの対応と今後について」

演者：九州大学病院小児救急救命センター 助教 賀来 典之 先生
北九州市保健福祉局医務薬務課長 有門 美穂子 先生
北九州市立八幡病院

小児救急・小児総合医療センター長 神菌 淳司 先生

第566回北九州地区小児科医会例会

日時：2021年2月18日（木）19:15～20:30

演題：「髄膜炎菌感染症のリスクと予防」

演者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野

教授 西 順一郎 先生

開催はWeb配信されます。 <https://sanofi.zoom.com/j/91760410835?pwd=MzZaaUxtY3VnMjZOQkpGNVJDZkFqZz09>

産業医科大学カンファランス・セミナー

当日は現地とWeb配信のハイブリッドで開催いたします。

Webでの参加をご希望の先生は、

j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jpまでご連絡願います。

後日、参加方法の詳細をお知らせいたします。

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：1月18日（月）19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：紛らわしい皮疹 ～膠原病を疑うポイント～

演者：産業医科大学小児科 緒方 愛美 先生、伊藤 琢磨 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：1月21日（木）19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2201教室

演題：小児外科医が考えた進化と栄養

演者：産業医科大学小児外科 江角 元史郎 先生

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：2月8日（月）19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：小児特発性ネフローゼ症候群の治療の現状
～ガイドライン2020を紐解く～

演者：産業医科大学小児科 齊宮 真理 先生、神田 里湖 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：2月25日（木）18:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：慢性肺疾患

演者：産業医科大学小児科 市川 俊 先生、清水 大輔 先生、
田中 健太郎 先生

その他講演会などのご案内

第432回小倉小児科医会臨床懇話会(Web 講習会)

日時：2021年1月28日（木）19:00～

場所：WEBのため、事前申し込み

演題：「非典型的な経過をたどった2症例から学ぶ思春期における不明熱の鑑別について」

演者：北九州総合病院 小児科 河原 風子先生

神田 里湖 先生、小川 将人 先生、神代 万壽美 先生

<要事前申込> 連絡先:小倉医師会 TEL.093-551-3181

第433回小倉小児科医会臨床懇話会(Web 講習会)

日時：2021年2月25日（木）19:00～

場所：WEBのため、事前申し込み

演題1：「小児の経口ブドウ糖負荷試験(OGTT)の読み方」

演者：九州労災病院 小児科 柴原 淳平先生、河田 泰定先生

演題2：「九州労災病院で行っている思春期早発症の診療」

演者：九州労災病院 小児科 河田 泰定先生

保険診療メモ (202012)

処方日数について気をつけていただきたいこと

保険審査は健康保険法、療養担当規則、医科点数表の解釈（青本）日本医薬品集（赤本）など様々な基準をもとに行われています。療養担当規則には第20条の二、投薬へ「投薬量は、予見することができる必要期間に従ったものでならないこととし、（中略）1回14日分、30日分又は90日分を限度とする。」とあります。また、医科点数表の解釈第2章第5部第2節処方料には「医師が処方する投薬量については、予見することができる必要期間に従ったものでなければならず、30日を超える長期の投薬を行うに当たっては、長期の投薬が可能な程度に病状が安定し、服薬管理が可能である旨を医師が確認するとともに（中略）。なお、上記の要件を満たさない場合は、原則として次に掲げるいずれかの対応を行うこと。ア 30日以内に再診を行う。イ 許可病床数が200床以上の保険医療機関にあっては、患者に対して他の保険医療機関（許可病床数が200床未満の病院又は診療所に限る。）に文書による紹介を行う旨の申出を行う。ウ（後略）」。

小児に多い上気道感染などの急性疾患では、より短期間の処方ですと十分と思われますし、症状が落ち着いているてんかんや成長ホルモン分泌不全低身長症などは90日分の処方を認めています。病状が安定していても、薬剤によっては服薬管理として診察や薬物血中濃度測定、血液生化学検査などを添付文書内で求めているものがあり、注意しなければなりません。以下にいくつか例をあげます。

ボセンタン（トラクリア®）：添付文書の警告欄に「肝機能検査を必ず投与前に行い、投与中においても、少なくとも1ヵ月に1回実施すること」とあります。血液生化学検査の実施と処方日数の制限が求められる薬剤です。

デスモプレシン（ミニリンメルト®）：1. 警告に水中毒の発現、水分摂取管理の重要性について説明・指導の記載があり、重ねて8. 重要な基本的注意に「定期的（1ヵ月毎）に患者の状態を観察し、水中毒を示唆する症状の発現に十分注意すること」とあります。

シクロスポリン（ネオーラル®）：7. 用法及び用量に関連する注意に、血中濃度について臓器移植患者は「1ヵ月に1回を目安に測定し投与量を調節すること」となっていますので長期処方できません。一方ベーチェット病などその他の疾患も「1ヵ月に1回を目安に測定し投与量を調節することが望ましい」とありますので注意が必要です。

用法用量の遵守は、保険審査の査定だけでなく医薬品副作用被害救済制度にも影響することがあります。平成27年度～令和元年度の副作用救済給付で、不支給となった内訳の16%は使用目的又は使用方法が適正とは認められないという理由でした。

今回は、投与量、年齢や併用薬剤については触れてはおりませんが、添付文書の内容にあわせた適切なご対応をお願いいたします。

（福岡県小児科審査委員連絡会）

役員会報告 (1月12日：火曜日)

協議事項・報告事項

1) 報告

2021年1月17日に第57回北九州地区小児科医会総会特別講演；『新型コロナウイルス感染症へのこれまでの対応と今後について』をシンポジウム形式で行います。

演者：賀来典之先生(九州大学病院小児救急救命センター)
有門美穂子先生(北九州市保健福祉局)
神藺淳司先生(北九州市立八幡病院)

来賓は招待しません。

総会後の懇親会は中止します。

※役員会は1月7日に行う予定でしたが、雪のため延期となり、今回は新型コロナウイルスに関連した議論は行っておりません。

委員会報告

1. 学術委員会報告：白川嘉継

3月18日 小倉医師会館 WEB ハイブリッド開催 MSD
長崎大学 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 & 熱帯医学・
グローバルヘルス研究科 小児科学分野教授 森内 浩幸教授
「Heralding and Hesitancy~新たな定期予防接種ロタウイルス
ワクチンの予告とHPVワクチンへの躊躇い」

4月15日予定 小倉医師会館 WEB ハイブリッド開催 ノー
ベルファーマ株式会社

大阪大学大学院 連合小児発達研究科教授 谷池雅子先生
発達と睡眠 (仮)

5月13日、20日、27日いずれか 小倉医師会館 WEB ハ
イブリッド開催 エーザイ株式会社

医療法人清照会湊病院北東北てんかんセンター
センター長 兼子直先生 (仮)

てんかん患者様のQOL向上を目指して (仮)

6月17日予定 小倉医師会館 WEB ハイブリッド開催 ミ
ヤリサン製薬

九州大学病院 心療内科教授 須藤信行先生

(仮) 脳腸相関 腸内細菌が身体と精神に及ぼす影響

11月予定 第一三共

インフルエンザ関連

福岡歯科大学教授 岡田賢司先生予定

12月予定 塩野義製薬

インフルエンザ関連希望

その他、COVID19のため、委員会が行われておりません。